

■11月はロータリー財団月間です。「ポール・ハリス・フェローの認証」

ポール・ハリス・フェローとは、

国際ロータリーのロータリー財団に1,000米ドル以上の寄付をした人、または名義人を称える認証です。

ポール・ハリス・フェローの認証は、1957年、当時唯一の財団プログラムであり、国際親善奨学金の前身となった「Rotary Foundation Fellowships for Advanced Study（高等教育のためのロータリー財団フェローシップ）」への寄付に対する謝意を示し、さらなる支援を向上させるために設立されました。

最初にフェローとして認証された人物には、アリソン G. ブラッシュ 1937-38年度 RI 理事や、長期にわたって RI 財務長を務めたルーファス F. チャピン財務長などが含まれ、両氏ともに1946年に寄付を行いました。1953年には、アダン・バルガスさんが、女性として始めv認証を受け、1957年には2人目の女性としてハリー L. ジョーンズさんが認証されました。ジョーンズさんは、同年5人のみであった認証受領者の一人でした。

初期のポール・ハリス・フェローには表彰状が授与されていましたが、1969年にハワイで行われたホノルル国際大会を皮切りに、メダルの贈呈が行われるようになりました。このメダルは、当時の財団管理委員であった湯浅恭三氏のもと、日本人のメタルアーティストであるフィジュー・ツダさんによってデザインされました。今日、ポール・ハリス・フェローには表彰状とピンが贈呈され、メダルは任意で購入するというかたちになっています。

ロータリアンは、ほかの個人に感謝の意や敬意を示すために、ロータリー財団に寄付する伝統をもっています。1978年、ヴァン・テイラー地区ガバナーは、結婚34周年を記念してイダ・レットゥール夫人の名の下に寄付を行い、同夫人は25,000人目となるポール・ハリス・フェローの認証を受けることとなりました。

1979年の国際協議会で、当時のジェームス・ボーマー会長エレクトが、クラブからロータリアン以外で一人のポール・ハリス・フェローを出そうと、各クラブに激励の言葉を送りました。続く1980年、米国メリーランド州のパイクスヴィル・ロータリークラブがマザー・テレサの名の元に寄付を行いました。同様に、マサチューセッツ州ケープコッド地域のクラブが協同寄付を行い、エンターテイナーであるパール・ベイリーさんにポール・ハリス・フェローの認証を授けました。このほかにも多くの著名人がポール・ハリス・フェローとして名を連ね、ジミー・カーター元アメリカ大統領、ボリス・エリツィン元ロシア大統領、アポロ13号の船員であったジェームス・ラヴェル飛行士、国連のハビエル・ペレス・デ・クエヤル事務総長、ポリオ・ワクチンを開発したジョナス・ソーク博士などが、ポール・ハリス・フェローとなっています。2006年、ポール・ハリス・フェローの数は100万人に達しました。(RI日本事務局リソース)

週 報

インスピレーションに
なろう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



第2826回例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	80名
出 席 計 算 会 員	80名
出 席	25名
欠 席	55名
出 席 率	31.25%
訂 正 出 席 率	62.50%

欠席会員名 親泊、新本、宮城、新垣(典)、安里(政)、中村、比嘉、東川平(靖)、亀川(偉)、梶原、吉村、新垣(豊)、長山、与儀、平良(修)、木全、金城、鈴木、崎山、三反園、長嶺(善)、保田盛、喜屋武、許田國吉、伊志嶺、國吉、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣(安)、朱、宜保、吉岡、井手上、白石、上原(進)、与那覇、上原(修)、真栄城、新垣(竜)、安里(繁)、長嶺(国)、前原、藤井、米須、赤嶺、桑野、堀川、石垣、下地、川畑、佐久本、相良。

MAKE-UP

山城、松島<宜野湾・那覇東>

ビジター 大城眞徳氏(那覇南)

ゲスト 山川 始氏(亀川榮一会員ご紹介)

川上 晃奈氏(那覇南 RC 大城眞徳氏ご紹介)

ゲスト・スピーカー 根路銘 敦 地区研修サブリダー・PAG (那覇東)

☆プログラム

11月13日(火)

「RYLA (ライラ) について」

国際ロータリー第2580地区

地区 RYLA 副委員長 小林 充氏 (那覇西)

11月20日(火)「イニシエーションスピーチ」

親睦活動委員 (新会員)

11月27日(火)

「松坂 順一 ガバナー公式訪問」

12月4日(火)

「M&Aを活用した成長戦略」

(株)日本M&Aセンター 沖縄営業所長

羽田 昌年氏

12月11日(火)「未定」

(株)上間フードアンドライブ

代表取締役社長 上間 喜壽氏

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1 (パシフィックホテル沖繩1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@m1.cosmos.ne.jp **HP アドレス** : <http://naha-rc.org/>

会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一

幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX(*^^)

山城 博美 会長

義元さんの入会を心からお祝いし、ご活躍を祈って。ニコニコ。

亀川 榮一 会員

那覇ロータリークラブの元会員山川始氏をゲストとして御紹介出来てニコニコ。

與座 嘉博 会員

皆出席バッジを頂き、ありがとうございます。

名嘉 義明 直前会長

ロータリーの友 52 ページに娘の記事が掲載されておりますので、ご一読下さい。にこにこ。

■幹事報告

松島 寛和 幹事

*他クラブ例会休会

- ・那覇西 RC 11/21 (水)
- ・那覇東 RC 11/22 (木)
- ・那覇北 RC 11/22 (木)

*東京ロータリークラブより「東北すくすくプロジェクト」2017-18年度のご報告が届きました。回覧致します。クラブHPでもご確認頂けます。

*地区大会のご登録のお願いが届きました。12/11 (火) 締切です。クラブ事務局までお申し込み下さい。尚、ご出席される会員は国際旅行社のホテルパック (1泊・2泊) もご利用下さい。

■ 11月の誕生祝い ❀おめでとうございます❀

- 2日 北田 敦司 (きただ あつし) 会員
- 3日 保田盛 清士 (ほたもり きよじ) 会員
- 3日 松元 剛 (まつもと つよし) 会員
- 4日 東川平 靖 (ひがしかわひら やすし) 会員
- 6日 相良 真澄 (さがら ますみ) 会員
- 7日 松島 寛和 (まつしま ひろかず) 会員
- 11日 鈴木 康友 (すずき やすとも) 会員
- 12日 戸田 澄之 (とだ すみゆき) 会員
- 19日 藤井 幸 (ふじい こう) 会員

■特別会計 2018~2019年度 ニコニコBOX

本日のニコニコBOX	¥7,000
ニコニコBOX 累計	¥200,000

■会長報告

山城 博美 会長

*来週 11/13 例会後に、ガバナー公式訪問前のクラブ協議会を開催致します。理事役員・各担当委員長の皆様よろしくご出席下さい。

*本日の卓話は根路銘地区研修サブリーダーより「RLIについて」お話頂きます。どうぞよろしくお祝い致します。

■新会員のご紹介 ご入会おめでとうございます



義元 大蔵 (よしもと だいぞう) 会員

本籍: 沖縄県

生年月日:

1975年2月13日

職業: (株) ディーズプランニング 代表取締役
現住所: 沖縄県那覇市牧志2-16-46 タカラマンションマキシ-1 1501

学歴: 沖縄県立那覇高等学校卒業後 渡米 2003年 帰国 職歴: 2003年(有)プライドリーム入社(飲食部統括) 2005年(株)信羽入社 2010年退社 2010年 全琉球商事株式会社 入社(営業部長) 2011年 退社 同年(株)アイム入社(インターネット事業立ち上げ) 2012年(有)ケインズ沖縄入社(常務) 2015年 退社 2015年(株)ディーズプランニング設立 職業分類: 飲食店経営委員会: 親睦活動 推薦者: 名嘉 義明 直前会長

■理事会報告

①ガバナー公式訪問について: 11/13 (火) 例会後 13:35~クラブ協議会で打合せを行う。

②創立60周年記念式典・祝賀会の件: 実行委員会各部会の配置。予算(案)承認。記念誌は作成しない事に決定。今後は各部会で活動する。

③例会場変更の件: 3月と5月の例会各1回ずつロワジュールホテルでの移動例会とする。

④第1回 RYLA 受講生決定/受講料¥15,000 承認について: 名嘉 董 (なか すみれ) さん (名嘉直前会長のお嬢様) 受講料の送金も承認された。

⑤奄美 RC との友好クラブの件: 60周年の際に友好クラブとしての調印式を行う事に決定。

■第12回例会 卓話 (10/30) 「11月・ロータリー財団月間に向けて」

国際ロータリー第2580地区 當間 卓 地区ロータリー財団委員②



引き続きロータリー財団の寄付へのご協力をお願いします。

地域社会へ「超我の奉仕」

11月はロータリー財団月間だ。活動は「超我の奉仕」と言われる。ご記憶いただきたい。地域社会への奉仕活動を行っている。寄付項目は、年次基金、恒久基金、ポリオプラス、ロータリー平和センターがある。この4種類を集め、事務局で振り分けて国際ロータリーに納めている。バランス良く納めることが大事で、4項目に分けて納めることが本来の姿。バランス良く、全員参加での寄付をお願いしている。

国際ロータリー第2580地区の寄付金は、2017年度に69万ドルあった。沖縄はなかなか寄付金が集まりにくいと言われていたが、北分区や東分区よりも多く、平均229ドルだった。

当地区では地区目標額として、年次基金に150ドル、恒久基金に30ドル、ポリオプラス基金に30ドル、ロータリー平和センターに20ドル、合わせて230ドルの寄付を納めていただくようお願いしている。

前年度の69万ドルの内訳だが、年次基金に46万ドル(66%)、ポリオに8万ドル(11%)、恒久基金に11万ドル(15.9%)、平和センターに4万ドル(6%)。年次基金は100%、全クラブが納めている。ポリオプラスは23クラブ、恒久基金は31クラブ、平和センターは35クラブが未納。寄付金全体を振り分けて納めていただくとそうはならない。振り分け納付が理想形だ。クラブバナー認証とは、正会員全員が寄付をしたクラブのこと。82クラブ中、42クラブだった。25ドル以上寄付をして、一人当たりが100ドルに達すると認められる。6月時点でクリアしたクラブにバナーが届く。那覇RCは今年度

も全会員が230ドルを寄付しており、ロータリー財団の理想とする姿である。

ロータリー財団には、ポリオ撲滅、ロータリー平和フェローシップ、補助金の3つのプログラムがある。ポリオは、急性灰白髄炎、一般的に小児麻痺といわれ、ウイルスが手や指を介して口から侵入し、主に5歳未満が感染する。ウイルスは体内でしか繁殖できず、生きられるのは数週間から1カ月程度。人体から出ると1~2週間で死ぬ。感染の連鎖を断ち切れば、ウイルスを絶滅できる。大流行したポリオだが、野生型ウイルスによる発症は今年9月まで18人に抑えられている。60円のワクチンで一人の子どもを守ることができる。支援してほしい。平和フェローシップの寄付金は、長期と短期の2種類あり、世界の優れた大学にロータリー平和センターを設置して、学生を奨学金で支援するプログラムを2002年から進めている。日本には国際基督教大学にあり、毎年10人が対象だ。補助金には地区補助金とグローバル補助金がある。地区補助金は、1年以内に比較的小規模な活動で、実施地は日本でも海外でも可能だ。クラブ単位で申込みができる。弱者救済や緊急ニーズに対応する活動が対象だ。

奉仕活動の原資は寄付金。ご協力を!

ロータリー財団は慈善団体・チャリティナビゲーターから財務の健康性、健全運営が評価され、4つ星の格付けを得ている。ロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困救済を通じて、世界理解、安全、平和を達成できるようにする使命がある。次の100年に向けて、ロータリー財団の意義をご理解いただき、奉仕活動の原資となる寄付へのご協力をお願いしたい。

文責: クラブ会報委員長 松元 剛